

鈴鹿市総合計画2023  
基本構想一部改正（案）  
「めざすべき都市の状態」  
成果指標  
目標値設定シート

◆抜粋

（めざすべき都市の状態10）  
地域で障がい者が夢や生きがいを持って暮らしていること

鈴鹿市総合計画2023基本構想(素案) めざすべき都市の状態の成果指標目標値設定シート

めざすべき都市の状態の番号	10	めざすべき都市の状態	地域で障がい者が夢や生きがいを持って暮らしていること	
成果指標	指標名	障害者雇用率制度対象事業主のうち、障がい者を1人以上雇用している企業の割合	目標値 (2023年度)	85.0%
			現状値 (2015年度)	73.6%
			現状値の年度等	2014年度
成果指標	指標の説明 (算出式)	(説明) 障害者雇用率制度対象事業主のうち、障がい者を1人以上雇用している企業の割合  なお、2018(平成30)年4月1日の法定雇用率引き上げにより、障害者雇用率制度対象事業主が、50人以上の従業員を雇用する企業から、45.5人以上の従業員を雇用する企業と変更された。さらに、2018(平成30)年4月から3年を経過する日より前に当該従業員数が43.5人と変更になるため、数値ではなく、制度として表記する。		
		(算出式) (障がい者を1人以上雇用している企業数) ÷ (障害者雇用率制度対象事業主数)		
成果指標の測り方	アンケート ・ 統計データ ※いずれかを選択			
目標値設定の考え方・算出方法	(考え方) 障がいのある方が働いている企業数を増やし、障がい者が地域の中で役割を担い、夢や生きがいを持って暮らしている状態をめざす。  2014年度は、市内における50人以上の従業員を雇用する民間企業91社中、障がい者を1人以上雇用している企業数は67社(73.6%)の状況である。  障がい者を1人以上雇用する企業の割合を、毎年1社程度増やし、8年後には85.0%とすることを目標値に設定。  (計算式) $(67社 + (1社 \times 8年間)) \div 91社 = 82.4\% \doteq 85.0\%$			